

Technics®

取扱説明書

ネットワークオーディオコントロールプレーヤー

SU-R1

音楽は、国を越えて、世代を越えて、

人の心を揺さぶり続けます。

そして時代はいつも、

新しい感動を求めています。

まだ経験したことのない音との出会い。

音楽を愛するすべての人に、

再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

Technics

はじめに

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 本機の特長

本機には下記の特長があります。

Technics Digital Link

微小信号を扱うネットワークオーディオプレーヤーと入力セレクタを同一筐体に構成しシグナルパスの最短化を図り、かつ高周波・大電量を扱うパワーアンプを別筐体とすることにより、微小信号へのノイズ混入を最小限に抑えています。さらに、新たな信号伝送インターフェースを開発することによって、ネットワークコントロールプレーヤー・パワーアンプ間の伝送時における時間精度・振幅精度の劣化を最小限にする理想的なアンプ構成を実現しました。

Digital Noise Isolation Architecture

デジタルコンテンツを格納するメディアの多くは、パソコン用途で開発されたものであるため、ピュアオーディオで要求されるローノイズ性が考慮されていません。そこで、各インターフェースラインのジッター対策・ノイズ遮断を徹底し、透明性の高いサウンドを実現しました。

Separated Analog/Digital Power Supply

ローノイズでレギュレーション特性に優れた R コアトランスを、アナログとデジタルそれぞれ専用に搭載し、高音質再生を実現しています。

■ 推奨機器について

よりよい音質でお楽しみいただくため、当社製機器(別売)をお勧めします。

品名	品番
ステレオパワーアンプ	SE-R1
スピーカーシステム	SB-R1

■ 本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒ 00)で示しています。
- イラストが実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(⇒ 6 ～ 9 ページ)

付属品	10
使用上のお願い	11
各部の名称と働き	12
準備する	14
SE-R1 とシステム接続する	14
アナログ音声入力機器と接続する	15
アナログ音声出力機器と接続する	15
デジタル音声入力機器と接続する	16
デジタル音声出力機器と接続する	16
電源コードを接続する	17
スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する	17
基本操作について	18
ネットワークを設定して音楽を楽しむ	19
DLNA 機器の音楽を楽しむ	20
iPhone/iPad/iPod の音楽を楽しむ	21
AirPlay を楽しむ	23
USB デバイスの音楽を楽しむ	24
パソコンなどの音楽を楽しむ	26
音質を調整する	27
本機の設定を変える	28
故障かな！？	30
仕様	33
著作権など	35
保証とアフターサービス	36

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

電源プラグ
を抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 火のそばや炎天下など高温の場所で使用・放置しない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください) (続き)

 警告	
	内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。 ● 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 ● 特にお子様にはご注意ください。
	ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。
 分解禁止	分解、改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因になります。
 接触禁止	雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない 感電の原因になります。
	使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。
	電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。 ● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

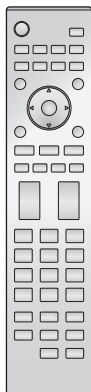


注意

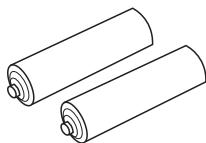
	不安定な場所に置かない 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
	コードを接続した状態で移動しない 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。
	本機のつまみをつかんで持ち上げたり、運んだりしない 落下すると、けがの原因になることがあります。 また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。
	本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。 また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。
	放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。 ● 天板の上に物を置かないでください。 ● また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。
	異常に温度が高くなるところに置かない 温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。 ● 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。 ● また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。
	油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
	ヘッドホン接続前に、音量を下げる 音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。 ● 音量は少しずつ上げてご使用ください。
	長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す 液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
 電源プラグを抜く	長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。 ● USB デバイスや iPhone/iPad/iPod は、保護のため取り出し、または取り外しておいてください。

付属品

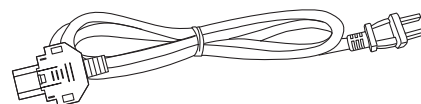
リモコン (1 個)
N2QAYA000095



リモコン用乾電池 (単 4 形、2 本)



電源コード (1 本)
K2CA2YY00307



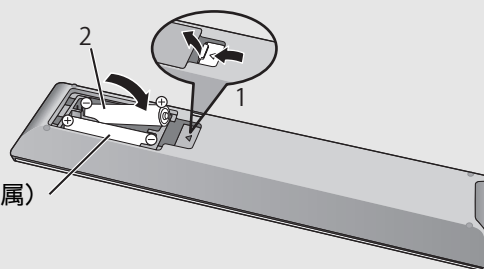
- 付属品の品番は 2014 年 11 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

■ リモコンの準備

電池を入れてください。

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部 (⇒ 12) に向けて、まっすぐ操作してください。

単 4 形乾電池 (付属)



付属品や別売品 (⇒ 4) は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」
でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC

<http://club.panasonic.jp/>

※ このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯



使用上のお願い

設置について

- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - － 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - － 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - － 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。



製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

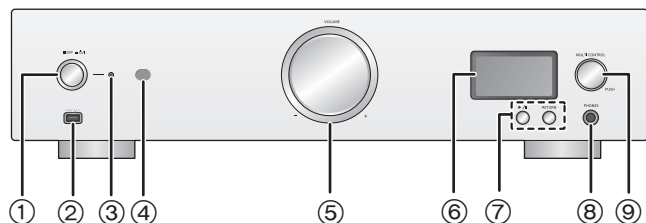


音のエチケット
シンボルマーク

各部の名称と働き

本体

■ 前面



① 電源ボタン

本機の状態（電源入 / 切）を切り替えます。

② USB 端子

iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスを接続します。
(⇒ 22, 24)

③ 電源インジケータ

本機の状態によって点灯の状態が変わります。

青色に点灯	電源「入」状態
赤色に点灯	スタンバイ状態

④ リモコン受信部

受信範囲：正面…約 7 m 以内、左右…各約 30°

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

⑤ 音量つまみ (⇒ 18)

ヘッドホンや SE-R1 の音量を調節します。

- アナログ、デジタル音声出力端子に接続した機器の音量は調節できません。
- つまみを回すスピードによって、音量の変化速度は変わります。

⑥ 表示窓

⑦ 再生操作ボタン

▶/	再生 / 一時停止する
RETURN	前の画面に戻る

- [RETURN] を長押しすると、ホーム画面を表示することができます。(⇒ 18)

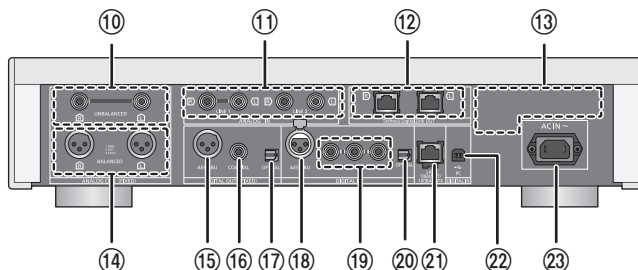
⑧ ヘッドホン端子

ヘッドホンプラグを接続します。

⑨ マルチコントロールつまみ (⇒ 18)

- 左右に回して入力ソースの切り替え、アップ / ダウン、再生中のスキップに使用します。
- 入力内容を決定したいときは短く、メニュー画面に入りたいときは長く押ししてください。

■ 背面



⑩ アナログ音声出力端子 [UNBALANCED](⇒ 15)

⑪ アナログ音声入力端子 [LINE 1]/[LINE 2](⇒ 15)

⑫ システム端子 [Technics Digital Link OUT](⇒ 14)

⑬ 定格銘板

製品品番は定格銘板内に記載されています。

⑭ アナログ音声出力端子 [BALANCED](⇒ 15)

⑮ デジタル音声出力端子 [AES/EBU](⇒ 16)

⑯ デジタル音声出力端子 [COAXIAL](⇒ 16)

⑰ デジタル音声出力端子 [OPTICAL](⇒ 16)

⑱ デジタル音声入力端子 [AES/EBU](⇒ 16)

⑲ デジタル音声入力端子

[COAXIAL1]/[COAXIAL2]/[COAXIAL3](⇒ 16)

⑳ デジタル音声入力端子 [OPTICAL](⇒ 16)

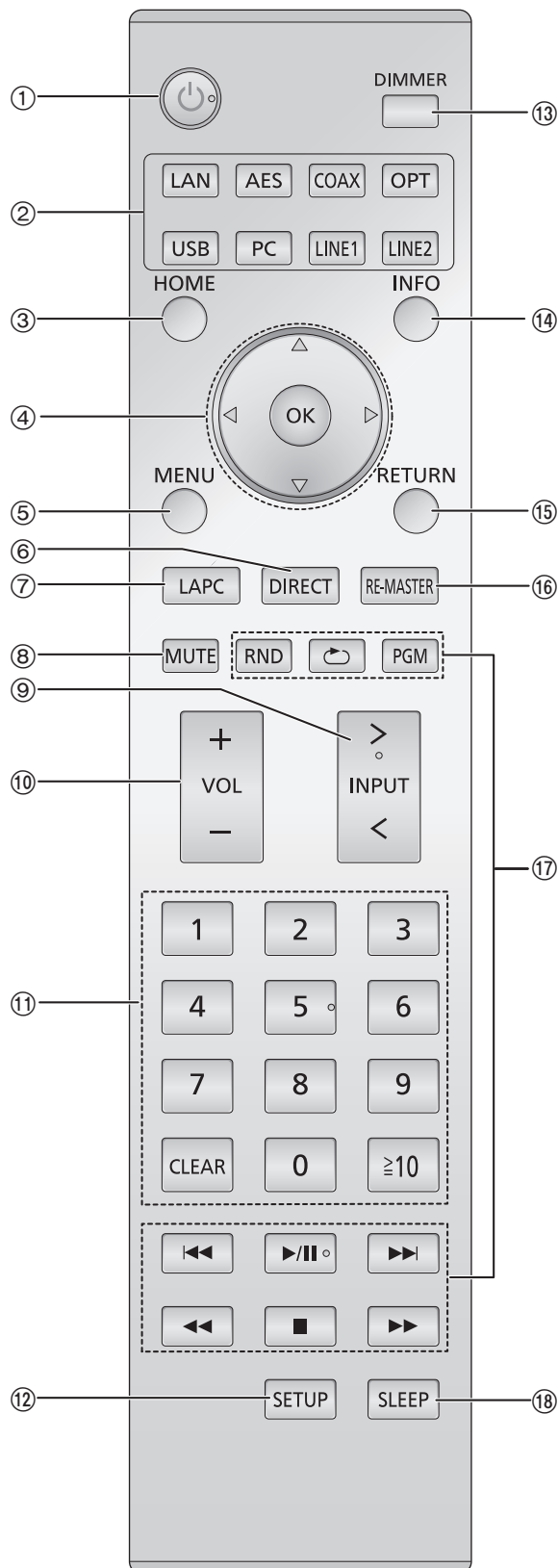
㉑ ネットワーク端子 [LAN](⇒ 19)

㉒ デジタル音声入力端子 [PC](⇒ 26)

パソコンなどと接続します。

㉓ AC 入力端子 [AC IN ~](⇒ 17)

リモコン



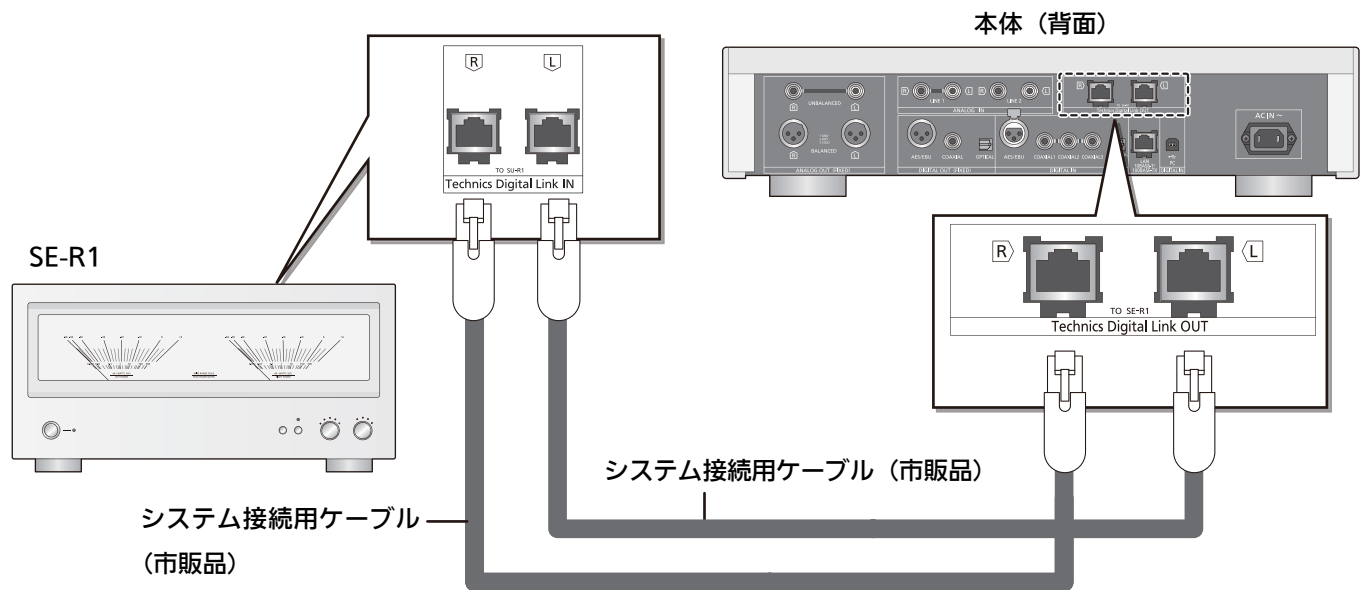
- ① [⏻]: 本機の状態（電源入 / スタンバイ）を切り替える
 - 電源インジケータが消灯している状態の場合、リモコンの操作は働きません。
- ② 本機の入力ソースを選ぶ
- ③ [HOME]: ホーム画面を表示する
- ④ [▲, ▼, ◀, ▶]/[OK]:
メニューや設定画面などで選んで決定する
- ⑤ [MENU]: メニュー画面に入る (⇒ 28)
- ⑥ [DIRECT]: ダイレクトモードを入 / 切する (⇒ 27)
- ⑦ [LAPC]: スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する (⇒ 17)
- ⑧ [MUTE]: ヘッドホンやSE-R1の音量を一時的に消音する (⇒ 18)
- ⑨ [>INPUT<]: 本機の入力ソースを切り替える
- ⑩ [+VOL-]: ヘッドホンや SE-R1 の音量を調節する (⇒ 18)
 - アナログ、デジタル音声出力端子に接続した機器の音量は調節できません。
- ⑪ 数字ボタン: 番号を選ぶ
 - 2桁の番号を選ぶには[≥10]を押してから数字ボタンを押す（例:「12」は[≥10]→[1]→[2]）
 - 4桁の番号を選ぶには[≥10]を3回押してから数字ボタンを押す（例:「1234」は[≥10]→[≥10]→[≥10]→[1]→[2]→[3]→[4]）
 - [CLEAR]: 入力した数値を取り消す
- ⑫ [SETUP]: 設定画面に入る (⇒ 19、27～30)
- ⑬ [DIMMER]: 表示窓の明るさを調整する (⇒ 18)
押すたびに明るさが切り替わります。
- ⑭ [INFO]: 情報を表示する
再生状態の情報を表示します。押すごとに曲名、アーティスト名、アルバム名、ファイルの種類、サンプリング周波数などが表示されます。
- ⑮ [RETURN]: 前の画面に戻る
- ⑯ [RE-MASTER]: リ・マスターを入 / 切する (⇒ 27)
- ⑰ 再生操作ボタン
- ⑱ [SLEEP]: おやすみタイマーを設定する (⇒ 28)

準備する

- 機器の接続や変更を行う場合は、必ず本機や他の機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。

SE-R1 とシステム接続する

- 本機からデジタル音声信号を出力し、音楽を再生することができます。
- 本機と SE-R1 を自動的に連動させて、リモコンで簡単に操作することができます。(⇒ 29)



- システム接続用ケーブルは、カテゴリ 7 LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をお使いください。3 m 以下のケーブルのご使用をお勧めします。
- システム端子とネットワーク端子は同じ形状をしています。誤って SE-R1 のシステム端子と接続しているシステム接続用ケーブルをネットワーク端子に接続しないようお気をつけください。

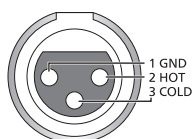
お願い

SE-R1 とは上記以外の方法では接続しないでください。

バランス型音声端子の極性とケーブルの取り外しについて

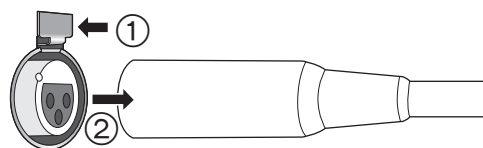
■ バランス型音声出力端子の極性について

極性に合わせて差し込む



■ バランス型ケーブルを取り外すには

端子上部の [PUSH] を押したまま、ケーブルを抜いてください。

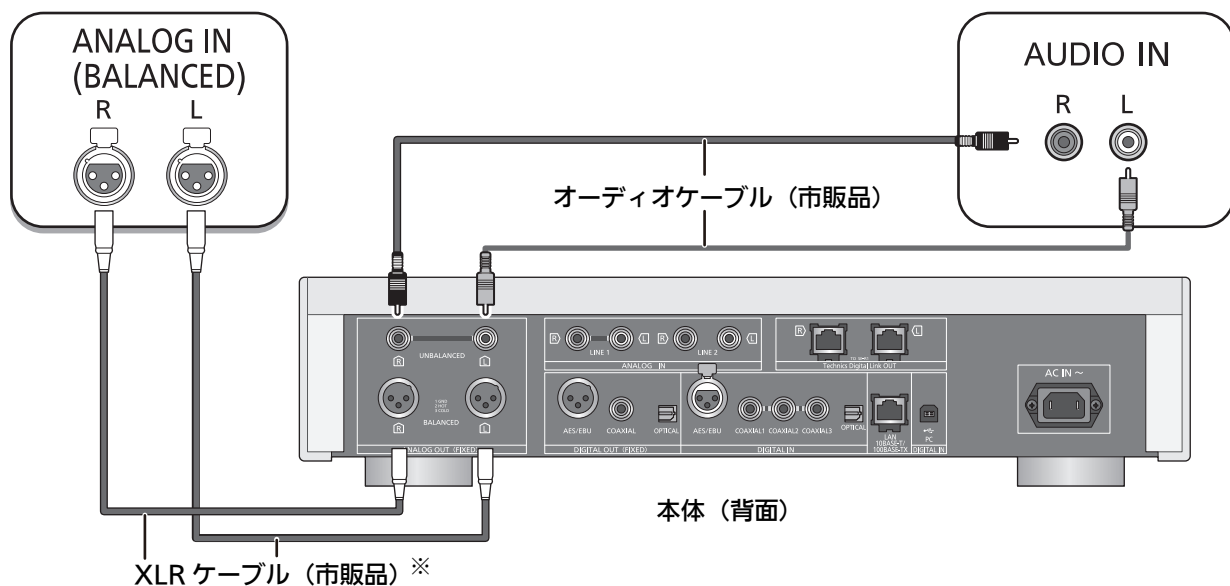


アナログ音声入力機器と接続する

本機からアナログ音声信号を出力し、音楽を再生することができます。

例： 入力端子がバランスタイプ
のプリアンプなど

入力端子がアンバランス
タイプのプリアンプなど



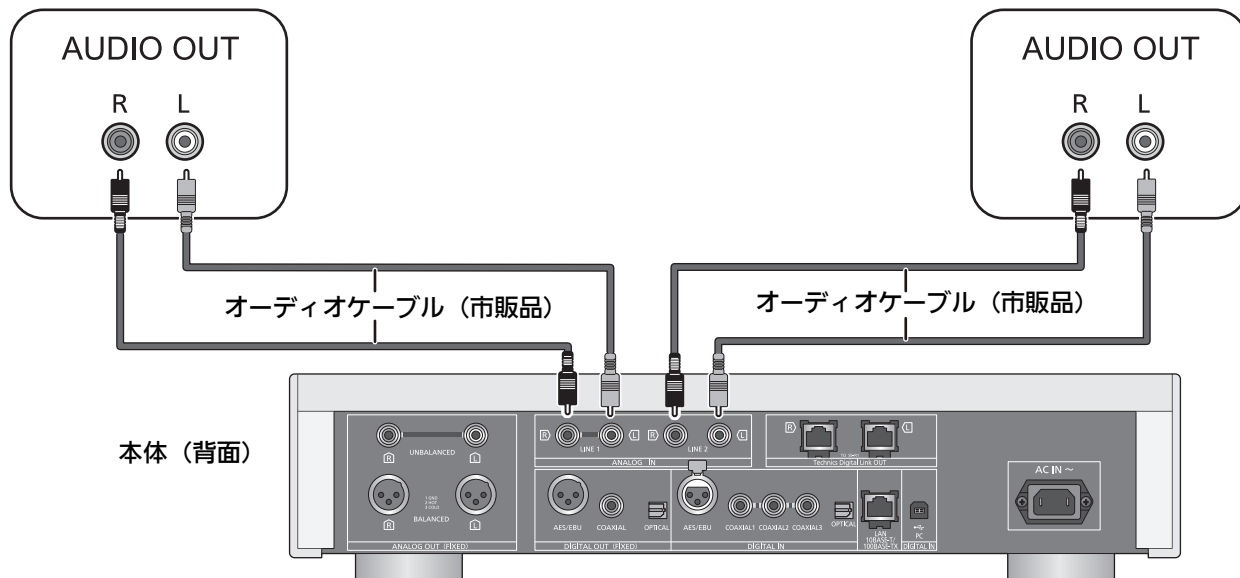
※ 3 m 以下のケーブルのご使用をお勧めします。

アナログ音声出力機器と接続する

本機にアナログ音声信号を入力し、音楽を再生することができます。

例： プレーヤーなど

プレーヤーなど

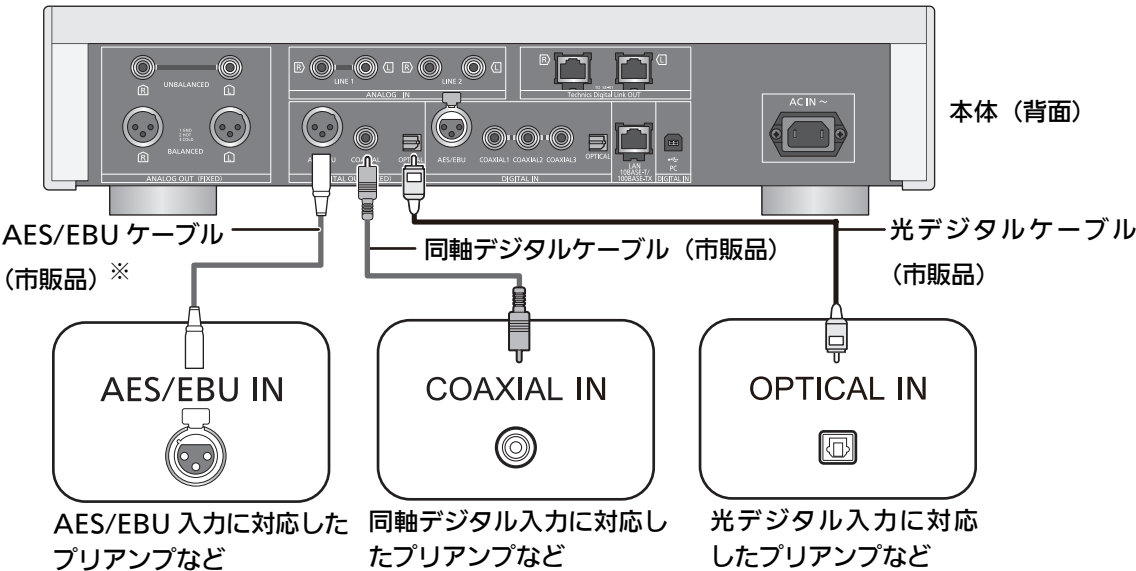


準備する (続き)

デジタル音声入力機器と接続する

本機からデジタル音声信号を出力し、音楽を再生することができます。

例：



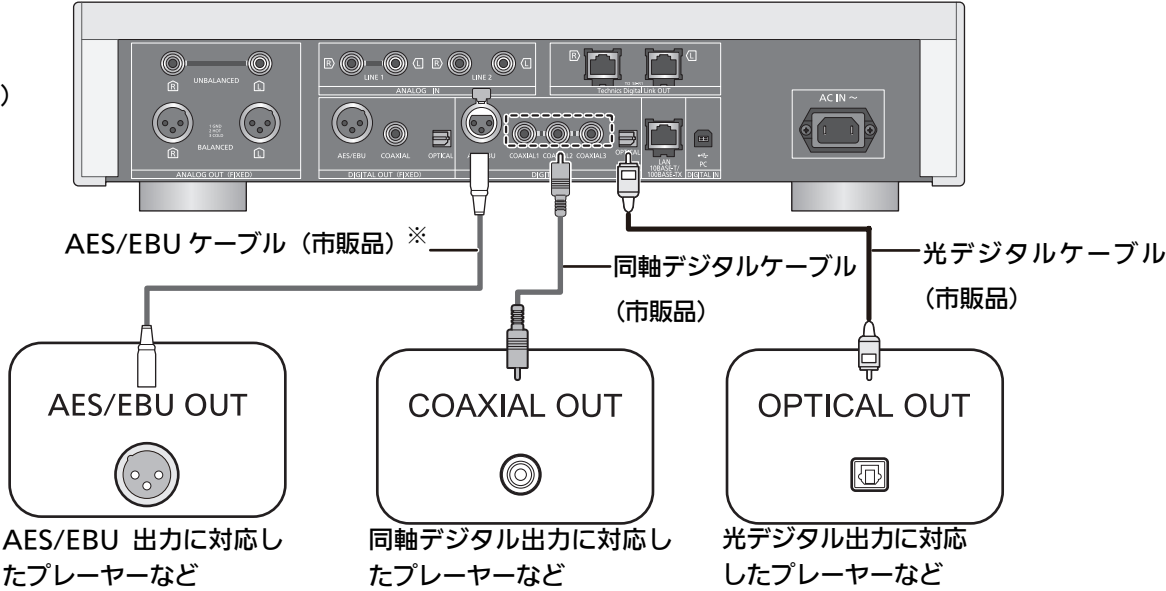
※ 3 m 以下のケーブルのご使用をお勧めします。

デジタル音声出力機器と接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、音楽を再生することができます。

例：

本体 (背面)



※ 3 m 以下のケーブルのご使用をお勧めします。

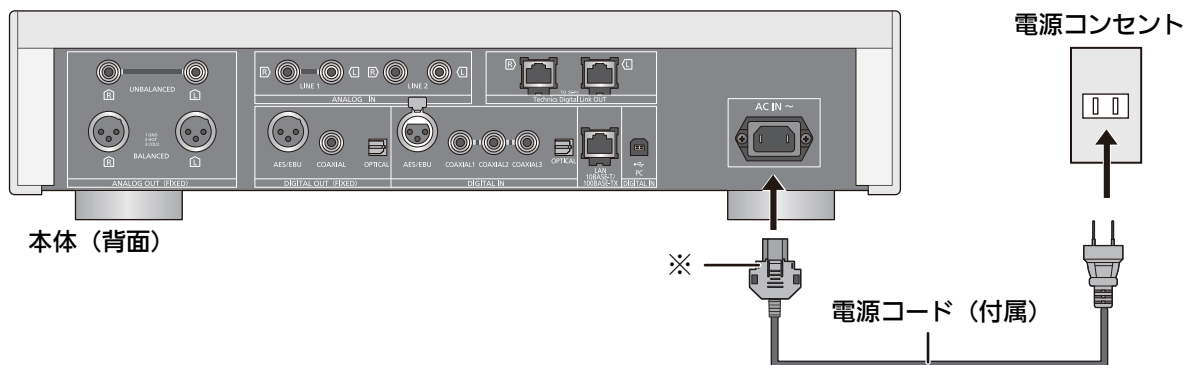
お願い

本機のデジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の説明書をご確認ください。

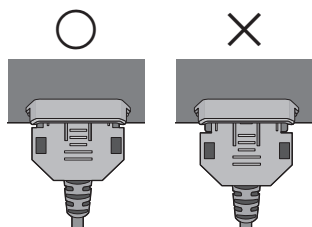
入力端子	サンプリング周波数	量子化ビット数
AES/EBU デジタル入力、同軸デジタル入力	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
光デジタル入力	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16、24 bit

電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

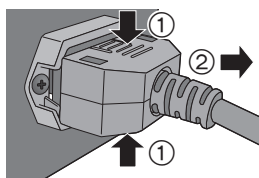


※ 確実に差し込んでください。



■ 本機から電源コードを取り外すには

コネクタの上下を押さえたまま、コードを抜いてください。



お願い

電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。

お知らせ

本体の電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本体の電源「切」状態でも、電力を消費しています。（電源「切」時の消費電力 ⇨ 33）

スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する

SE-R1 と本機をシステム接続している状態の場合、本機のリモコンを使ってこの操作を行うことができます。

SE-R1 の [LAPC] インジケータが点滅するまで [LAPC] を長押しする

アンプの出力特性の測定が始まります。

お知らせ

SE-R1 の詳しい操作方法は、SE-R1 の取扱説明書をご覧ください。

基本操作について

準備する

- 再生する音楽を準備する
- 本機、または接続機器（アンプなど）の音量を最小にする

1 電源ボタンを押す

電源インジケータが青色に点灯します。

2 入力ソースボタンを押す (⇒ 13)

LAN	ネットワークに接続して音楽を再生します。(⇒ 20)
AES	デジタル音声出力機器と接続して音楽を再生します。
COAX	
OPT	● [COAX] を押すたびに「COAX1」、「COAX2」、「COAX3」が切り換わります。
USB	iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスに保存している音楽を再生します。 (⇒ 21、22、24、25)
PC	パソコンで音楽を再生します。 (⇒ 26)
LINE1/LINE2	アナログ音声出力機器と接続して音楽を再生します。

3 [▲][▼] を押して項目を選び、[OK] を押す

- さらに他の項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 音楽を再生する

■ マルチコントロールつまみを使用する際は

- ① 本体の [RETURN] を押したままにする
ホーム画面が表示されます。
- ② マルチコントロールつまみを左右に回して、入力ソースを選び、つまみを押す
- ③ マルチコントロールつまみを左右に回して、項目を選び、つまみを押す
- ④ 音楽を再生する

ヘッドホンやSE-R1の音量を調節する

本機のリモコンで SE-R1 を操作するにはシステム接続する必要があります。(⇒ 29)

■ 音量を調節する

[+VOL-] を押す

音量の範囲：- dB（最小）、-99.0 dB ～ 0 dB（最大）

- SE-R1 の音量を調節するときは、SE-R1 の入力切替つまみを [DIGITAL] に設定してください。

■ 一時的に音を消す

[MUTE] を押す（もう一度押すと解除されます）

「MUTE」が表示され、音が消えます。

- 消音中は “ × ” が表示されます。
- 音量操作や本機の電源操作を行った場合、または電源コードを抜き差しした場合も消音は解除されます。

表示窓や電源インジケータの明るさを変える（ディマー）

[DIMMER] を押して明るさを選ぶ

- 消灯にしているときは、本機を操作したときだけ、表示窓が点灯します。
表示窓が消灯する前に「Display Off」が数秒間、表示されます。

専用アプリ「Technics Music App」を使って操作する

お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリケーション「Technics Music App」（無料）をインストールすると、様々な機能を使って本機と SE-R1 を操作することができます。

詳しくは下記をご覧ください。

www.technics.com/support/

ネットワークを設定して音楽を楽しむ

本機をネットワークに接続することにより、AirPlay や DLNA 機能を利用して iOS 機器 (iPhone/iPad/iPod)、Android™ 機器やパソコン (Mac/Windows) にある音楽をお楽しみいただけます。(⇒ 20, 23)

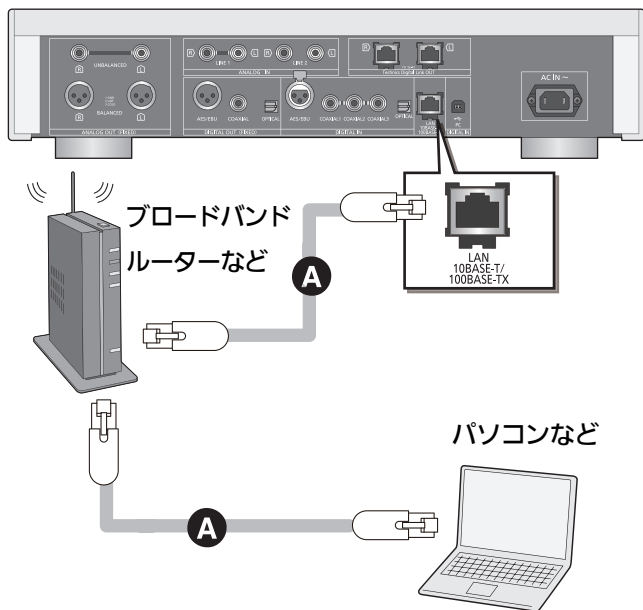
AirPlay や DLNA 機能をご利用になるには、本機と iOS 機器、Android 機器やパソコンが、ブロードバンドルーターを通じて同じネットワークに接続されている必要があります。

有線 LAN 接続を行う

LAN ケーブルを接続するだけでお使いになれます。

- カテゴリ 7 LAN ケーブル STP ストレート結線 (シールドタイプ) をお使いください。
- ネットワーク端子とシステム端子は同じ形状をしています。誤ってブロードバンドルーターなどと接続している LAN ケーブル (市販品) をシステム端子に接続しないようお気をつけください。

本体 (背面)



A LAN ケーブル (市販品)

準備する

- 本体の電源コードを抜く
- ① 本体とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する
 - ② 本体に電源コードを接続し、電源ボタンを押して電源を入れる

詳細な接続設定を行う

(必要な場合のみ)

- お使いのネットワークが、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などに特別な設定を行っている場合、それぞれを設定できます。
- AirPlay や DLNA 機能使用時に表示される本機の名称 (Friendly Name) を変更できます。
- 設定中は音楽を再生しないでください。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「Network」を選び、[OK] を押す
- ③ 設定画面の各項目を入力して、[OK] を押す
- ④ [RETURN] を数回押して、設定を終了する
- ⑤ [⏻] を押して、本機をスタンバイ状態にする
「Please Wait」の表示が消えるまでお待ちください。
- ⑥ 「有線 LAN 接続を行う」(⇒ 左記) の接続を行う

お知らせ

- LAN ケーブル以外 (電話のモジュラーケーブルなど) を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 電源を入れた直後にネットワークの設定を行うと開始までに時間がかかることがあります。

DLNA 機器の音楽を楽しむ

パソコンやスマートフォンなどに保存された音楽を DLNA の機能を使って再生することができます。

- 音楽が記録された機器をサーバーといいます。
- 再生可能なフォーマットについては (⇒ 34)

準備する

- ネットワークに接続する (⇒ 19)
- 接続する機器をご家庭でお使いの無線ネットワークに接続する
- Windows Media® Player11 または 12 のライブラリやスマートフォンなどにコンテンツやフォルダを追加する
 - Windows Media® Player のプレイリストからは、ライブラリに保存されたコンテンツしか再生できません。
 - Windows Media® Player は、ストリーミング再生をするための事前の設定が必要です。

本機から操作して DLNA サーバーのコンテンツを再生する

DLNA サーバーに保存された音楽を、本機 (DMP/ デジタルメディアプレーヤー) から操作して再生することができます。

1 [LAN] を押す

サーバー選択画面が表示されます。

2 [▲][▼] を押して DLNA サーバーを選び、[OK] を押す

フォルダ / コンテンツ選択画面が表示されます。

- さらに他の項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

サーバーの仕様によって、異なった順番で表示されることがあります。

3 [▲][▼] を押して再生するコンテンツを選び、[OK] を押す

リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/⏸] を押す • 再開するには [▶/⏸] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[⏮][⏭] を押す • スキップ終了後、再生が始まります。
早送り / 早戻し (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、 [◀◀][▶▶] を押したままにする
順不同で聴く (ランダムリピートプレイ)	[RND] を押す (押すたびに表示が切り換わります) フォルダ内の全曲をランダムに繰り返し再生します。 (“RND” と “🔀” が点灯します) • ランダムリピートプレイは、他の再生方法と組み合わせることができません。
くり返し聴く (リピートプレイ)	[🔁] を押す (押すたびに表示が切り換わります) 1-Track : 1 曲のみリピート再生 (“1 🔁” が点灯します) All : フォルダ内の全曲をリピート再生 (“🔁” が点灯します) Off : リピートプレイが解除されます

iPhone/iPad/iPod の音楽を楽しむ

DMCから操作してDLNAサーバーのコンテンツを再生する

DMC（デジタルメディアコントローラー）対応機器を操作して、DLNA サーバーの音楽を本機（DMR/ デジタルメディアレンダラー）から再生できます。

1 電源ボタンを押す

2 DMC 対応機器を操作する

- 初期設定の機器（レンダラー）名は「Technics SU-R1 _ _ _ _ _ ※1,2」と表示されます。
- 接続機器の設定および操作方法については、機器の説明書をお読みください。

お知らせ

- 他の入力ソースで再生中のときでも、DMC から操作すると、DLNA サーバーの再生が優先されます。
- DLNA 接続に関する最新のサポート情報は下記のサイトをご覧ください。
www.technics.com/support/
- コンテンツや接続機器によっては、一部の操作ができなかったり、再生できない場合があります。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。

※ 2 「詳細な接続設定を行う」から、機器の名前を変更できます。（⇒ 19）

対応しているiPhone/iPad/iPodを接続すると、iPhone/iPad/iPod の音楽を再生したり、充電したりできます。

- iPhone/iPad/iPod に付属の説明書もお読みください。
- iPhone/iPad/iPod のデータ管理について、当社では一切の保証をしておりません。

対応している iPhone/iPad/iPod

iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、 iPhone 5、iPhone 4s、iPhone 4、iPhone 3GS、 iPhone 3G
iPad Air、iPad（第3および第4世代）、iPad 2、 iPad、iPad mini with Retina ディスプレイモデル、iPad mini
iPod touch（第2から第5世代）
iPod nano（第3から第7世代）

（2014 年 9 月現在）

お願い

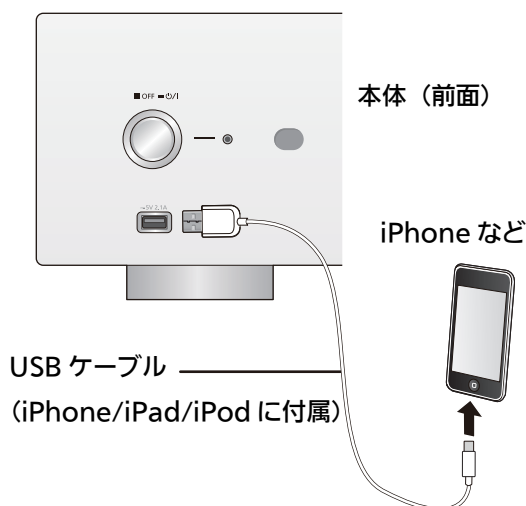
- iPod classic、iPod [第4世代（カラーディスプレイ）、第5世代（ビデオ）]、iPod nano（第1世代）は接続しないでください。

iPhone/iPad/iPod の音楽を楽しむ（続き）

iPhone/iPad/iPod を接続する

本機と iPhone/iPad/iPod を接続するときは、iPhone/iPad/iPod に付属の USB ケーブルを使用してください。

例：



iPhone/iPad/iPod の音楽を聴く

- 1 iPhone/iPad/iPod を本機に接続する
- 2 [USB] を押す
- 3 音楽を再生する

リモコンでの操作※

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/] を押す • 再開するには[▶/]を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[◀◀][▶▶] を押す
早送り / 早戻し（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、 [◀◀][▶▶] を押したままにする

※ iPhone/iPad/iPod の機種によっては、操作できない場合があります。

お知らせ

- 動作の表示は、iPhone/iPad/iPod の画面で確認できます。
- アルバムやアーティストを選曲し直す場合に、iPod 側で操作することが必要になります。
- ご使用の iPhone/iPad/iPod またはそのバージョンによっては、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の使用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。詳しくは、下記のサイトをご確認ください。
www.technics.com/support/

充電する

iPhone/iPad/iPod を本機に接続すると、自動的に充電が始まります。

- 本機の電源が「切」の状態では充電はできません。
- 本機がスタンバイ状態では充電は始まりません。充電を行うときは、本機の電源を「入」にしてください。

iPhone/iPad/iPod を本機に接続する

- 充電が完了したかどうかは、
iPhone/iPad/iPod の画面でご確認ください。

お知らせ

- 本機がスタンバイ状態のときは「iPod Charging」と表示されます。
- iPhone/iPad/iPod の充電が一度完了すると、自然放電により電池が消耗しても追加充電されません。
- iPhone/iPad/iPod の電池が切れている状態で充電を行う場合は、本機の電源を「入」にして iPhone/iPad/iPod を接続し、iPhone/iPad/iPod の電源が入るまで本機の電源をスタンバイ状態にしないでください。

AirPlay を楽しむ

AirPlay は、iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した PC で動作します。

準備する

- ネットワーク設定をする (⇒ 19)
- iOS 機器やパソコンを、ご家庭でお使いの無線ネットワークに接続する

1 iOS 機器 (iPhone、iPad、iPod touch など) のとき
「iPod」または「ミュージック」アプリを開く
パソコンのとき
「iTunes」を開く

2 AirPlay アイコン  を選び、スピーカーを選ぶ

- 初期設定のスピーカー名は
「Technics SU-R1 _ _ _ _ _ ※1, 2」と表示されます。

3 音楽を再生する

- 音を出す前にiOS機器やiTunesの音量が適切か確かめてください。
- 初めてご使用になるときはiOS機器やiTunesの音量を絞ってください。
- 再生開始後、実際に音声が出るまで少し時間がかかります。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。

※ 2 「詳細な接続設定を行う」から、機器の名前を変更できます。(⇒ 19)

■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/⏸] を押す ● 再開するには [▶/⏸] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[⏮][⏭] を押す

- iOS 機器や iTunes でも操作することができます。

お知らせ

- 他の入力ソースで再生中のときでも、AirPlay の再生が優先されます。
- iOS 機器や iTunes の音量を変えると、本機の音量も変わります。(iTunes をお使いのとき、バージョンによっては設定が必要な場合があります)
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中に入力ソースを切り換えたり、本機の電源を切 / 入れたりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは手順 2 でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。
- iTunes で動画を再生しているときは、本機から AirPlay の再生ができないことがあります。

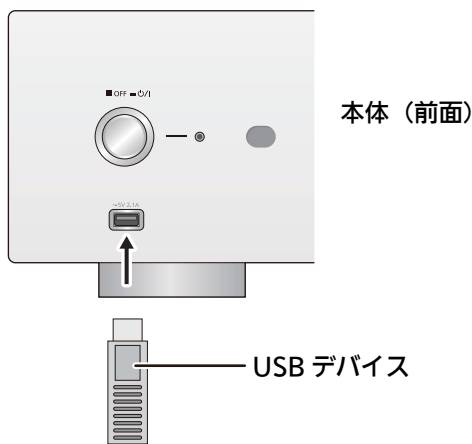
USB デバイスの音楽を楽しむ

USB デバイスなどを本機に接続して、音声を再生することができます。

- すべての USB デバイスとの接続を保証するわけではありません。
- 本機は FAT16、FAT32 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB デバイスは本機に直接接続してください。
- USB 接続のカードリーダーライターは使用できません。
- 本機では USB デバイスへの録音はできません。
- 再生可能なフォーマットについては (⇒ 34)

1 USB デバイスを本機に接続する

例：



2 [USB] を押す

3 [▲][▼] を押して項目を選び、[OK] を押す

- さらに他の項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
- 再生が始まります。

再生中の操作

メディアやコンテンツによっては機能しないものもあります。

停止	[■] を押す ● 最初から再生するには [▶/] を押す
一時停止	[▶/] を押す ● 再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[◀◀][▶▶] を押す ● スキップ終了後、再生が始まります。
早送り / 早戻し（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、[◀◀][▶▶] を押したままにする
順不同で聴く（ランダムリピートプレイ）	[RND] を押す（押すたびに表示が切り換わります） フォルダ内の全曲をランダムに繰り返し再生します。（“RND” と “🔄” が点灯します） ● ランダムリピートプレイは、他の再生方法と組み合わせることができません。
くり返し聴く（リピートプレイ）	[🔄] を押す（押すたびに表示が切り換わります） 1-Track： 1 曲のみリピート再生（“1 🔄” が点灯します） All： フォルダ内の全曲をリピート再生（“🔄” が点灯します） Off： リピートプレイが解除されます ● リピートプレイは、プログラムプレイと組み合わせることができます。

曲を選んで聴く（プログラムプレイ）

フォルダ内の好みの曲を好きな順に、最大 24 曲までプログラムできます。

準備する

- フォルダを移動してプログラムできません。あらかじめプログラムしたい曲をフォルダにまとめてください。

- ① 停止中に、[PGM] を押す
「Program Mode」画面が表示されます。
- ② [OK] を押してプログラム入力選択画面を開く
- ③ [▲][▼] を押してプログラムしたい曲を選び、[OK] を押す
 - 続けて選ぶときはこの手順を繰り返します。
- ④ [▶/||] を押す（再生開始）
プログラムプレイ画面が表示されます。
 - 再生中は「Program Mode」画面に移動することはできません。

リモコンでの操作

停止する	再生中に、[■] を押す (プログラム内容は保持)
曲の順番を確認する	プログラムプレイの停止中に、 [◀][▶] を押す • 「Program Mode」画面に戻るには [RETURN] を押す
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、 左記手順 ③ を行う
最後の 1 曲を取り消す	「Program Mode」画面でプログラムプレイの停止中に、 [CLEAR] を押す • プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
通常の再生に戻す	① プログラムプレイの停止中に、[PGM] を押す 「Program Clear」画面が表示されます。 ② [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す (プログラム内容は消去されます)

お知らせ

- 入力ソースに USB が選ばれている間は、プログラム内容は保持されます。
- USB デバイスを取り外したり、本機の電源を「切」やスタンバイ状態に切り替えたりするとプログラム内容は取り消されます。
- プログラムプレイは、リピートプレイと組み合わせることができます。

パソコンなどの音楽を楽しむ

本機のデジタル音声入力端子 [PC] とパソコンなどを USB ケーブル（市販品）で接続すると、パソコンなどの音楽を本機から再生できます。

お願い

パソコンと接続する場合

接続前に下記の操作を行ってください。

- パソコンの推奨 OS については下記をご確認ください。（2014 年 11 月現在）
 - Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1
 - OS X 10.7、10.8、10.9、10.10
- ① ご使用のパソコンに専用ドライバーソフトをダウンロード・インストールする（Windows OS のみ）
下記 URL からダウンロード・インストールしてください。
www.technics.com/support/
- ② ご使用のパソコンに専用アプリケーション「Technics Audio Player」（無料）をダウンロード・インストールする（Windows OS/OS X 共通）
下記 URL からダウンロード・インストールしてください。
www.technics.com/support/

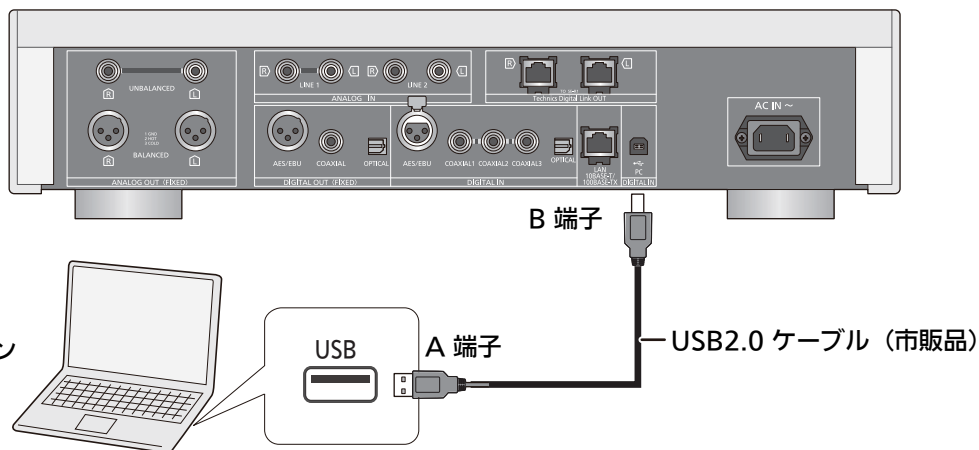
1 本機とパソコンなどを接続する

- 本機と電源コードを接続している場合は、USB ケーブルを接続する前に本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。

例：

本体（背面）

パソコン
など



2 本機と電源コードを接続する (⇒ 17)

3 電源ボタンを押す

4 [PC] を押す

5 パソコンなどを操作して音楽を再生する

お知らせ

- 再生可能なファイルについては (⇒ 34)

音質を調整する

お好みに合わせて音質を調整して、音楽をお楽しみください。

より自然な音で聴く (リ・マスター)

再生帯域やビットを拡張することにより、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音を再現します。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

[RE-MASTER] を押して Off/On を切り替える

- 有効にするときは「On」を選択します。

ダイレクトモード

本モードを有効にすることで、本機の DSP を通さずに最短で、入力信号を伝送し、原音に忠実で高音質な再生ができます。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

[DIRECT] を押して Off/On を切り替える

- 有効にするときは「On」を選択します。

音声のひずみを抑える

アナログ音声入力端子に接続中の音声ひずむ場合は、アッテネーターを「On」に切り替えてください。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「Attenuator」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「LINE1」または「LINE2」を選ぶ
- ④ [◀][▶] を押して「On」を選び、[OK] を押す

サンプリング周波数を設定する

出力するサンプリング周波数の上限を設定することができます。伝送可能なサンプリング周波数は、アンプや D/A コンバーターごとに異なります。詳しくは接続した機器の説明書をお読みください。

- お買い上げ時の設定は「32kHz-192kHz」です。

準備する

- 「Digital Output」を「On」にする。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「D.Output fs」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して項目を選び、[OK] を押す
- サンプリング周波数は、96 kHz、または 192 kHz のどちらかを選ぶことができます。

音声出力を停止する

使用しない出力端子の音声出力を停止することにより、ノイズを抑え、より高音質な再生ができます。

■ アナログ、デジタル出力端子からの出力を停止する

- お買い上げ時の設定は「On」です。

- ① [SETUP] を押す
デジタル音声出力を停止する場合：
[▲][▼] を数回押して「Digital Output」を選び、[OK] を押す
アナログ音声出力を停止する場合：
[▲][▼] を数回押して「Analog Output」を選び、[OK] を押す
- ② [▲][▼] を押して「Off」を選び、[OK] を押す
 - 再度、有効にするときは「On」を選択します。

■ システム端子 (SE-R1) からの出力を停止する

- お買い上げ時の設定は「On」です。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「Digital Link」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「Off」を選び、[OK] を押す
 - 再度、有効にするときは「On」を選択します。

お知らせ

- 再生する音源によっては効果が少ないものもあります。
- 再生する音源によっては、意図したとおりの音質効果が得られないことがあります。このようなときは機能を切ってください。
- リ・マスターとダイレクトモードの両方を「On」にすることはできません。
- 「Digital Output」、「Analog Output」、「Digital Link」が「Off」のときは、本機から音声は出力されませんのでお気をつけください。
- ヘッドホンプラグを接続しているときは、「Analog Output」を「Off」にしてもアナログ音声出力を停止することはできません。アナログ音声入力機器を接続している場合は、お気をつけください。
- 音質を調整したあと、音声が出るまで少し時間がかかる場合があります。

本機の設定を変える

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）

無音の状態が約 20 分続き、その間ボタン操作などがなかった場合、電力を節約するため、自動的にスタンバイ状態に切り替わります。

- お買い上げ時の設定は「On」です。

解除するには

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「AUTO OFF」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「Off」を選び、[OK] を押す
 - 再度、有効にするときは「On」を選択します。

お知らせ

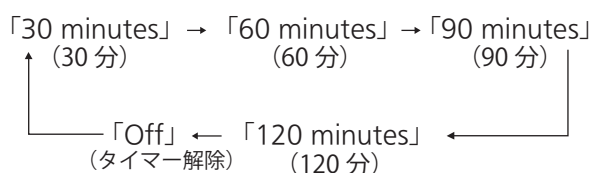
- オートオフ機能は無効にしない限り、電源を切／入しても働きます。
- ネットワーク・スタンバイ機能を「On」に設定すると、オートオフ機能は「On」に固定されます。設定を変更する場合はネットワーク・スタンバイ機能を「Off」に設定してください。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

[SLEEP] を押す

押すたびに：



お知らせ

メニュー画面から「SLEEP」を選んで設定することもできます。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンを操作すると、本機にも影響してしまうことがあります。このようなときは、リモコンモードを変更してください。

リモコンを本体に向けた状態で [OK] と数字ボタンを 4 秒以上押し続ける

切り換わると表示窓にリモコンモードが数秒間表示されます。

[OK] + [1]	リモコンモードが「Mode 1」に切り換わります。 (お買い上げ時の設定)
[OK] + [2]	リモコンモードが「Mode 2」に切り換わります。

動作を確認してください

リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、表示窓に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。

例：「U30 REM2」と表示された場合上記の手順を行ってください。

ネットワーク・スタンバイを設定する

本機がスタンバイ状態でも AirPlay/DLNA 用プレーヤーとして待機し、AirPlay/DLNA をご使用のときに自動的に電源が入ります。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「Network Standby」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して項目を選び、[OK] を押す
 - 有効にするときは「On」を選択します。

お知らせ

- 設定を有効にすると待機時消費電力が増えます。

表示文字を設定する

曲名、アーティスト名などで表示される文字が意図した文字と異なる場合は、表示文字を切り換えることができます。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「E Asian Character」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「Type 1(日本)」または「Type 2(簡体字)」を選び、[OK] を押す

Type 1(日本)	日本語優先で表示します。 (お買い上げ時の設定)
Type 2(簡体字)	中国語（簡体）優先で表示します。

システム接続機能を使う

本機と SE-R1 を自動的に連動させて、リモコンで簡単に操作することができます。

準備する

- ① システム接続用ケーブルを使って本機と SE-R1 を接続する (⇒ 14)
- ② SE-R1 の入力切換つまみを [DIGITAL] に設定する
- ③ 本機と SE-R1 の電源を「入」にする
- ④ 本機の「Digital Link」が「Off」に設定されている場合は、「On」に切り替える

■ 本機および SE-R1 の状態を連動して切り替える

- 本機および SE-R1 がスタンバイ状態のときに [⏻] を本機に向けて押すと、本機および SE-R1 の電源は自動的に「入」になります。
- 本機および SE-R1 が電源「入」の状態のときに [⏻] を本機に向けて押すと、本機および SE-R1 の電源は自動的にスタンバイ状態になります。

■ スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する

本機のリモコンを使って、操作することが出来ます。

■ 低域 / 中域 / 高域を調整する

SE-R1 から出力する音声の強弱を各音域（低音域・中音域・高音域）ごとに調整することができます。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「Tone Control」を選び、[OK] を押す
 - 有効にするときは「On (adjustment)」を選択します。
- ③ [▲][▼] を押して「BASS」（低域）、「MID」（中域）、または「TREBLE」（高域）を選ぶ
- ④ [◀][▶] を押して各レベルを調整して、[OK] を押す
 - 各レベルはそれぞれ「- 10」から「+ 10」まで調整できます。

お知らせ

- SE-R1 の詳しい操作方法は、SE-R1 の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアを更新する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のソフトウェアを必要に応じて更新しています。

- 故障の原因になりますのでソフトウェアの更新中は絶対に本体の電源ボタンを押したり、電源コードを抜いたりしないでください。

更新中は「Linking」、「Updating」などの進捗状況が表示されます。

- ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。

準備する

- ネットワークに接続する (⇒ 19)（インターネットに繋がったネットワークに接続してください）

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「F/W Update」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
更新が完了すると「Success」と表示されます。
- ④ 電源プラグを抜く
- ⑤ 3分以上たってから、電源プラグを差し込む

お知らせ

- 最新のソフトウェアのときは、「No Need」と表示されます。
- 更新には数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「F/W Version」を選び、[OK] を押す
バージョン情報が表示されます。
- ③ [OK] を押し、終了する

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について

長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、使用には問題ありません。

ソフトウェアを更新していますか？

本機の動作を改善するために、ソフトウェアは必要に応じて更新されています。(⇒ 29)

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

- ① [SETUP] を押す
- ② [▲][▼] を数回押して「Initialization」を選び、[OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
- ④ 手順 3 と同じ操作をもう一度繰り返す

共通

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差し換えてみてください。

音声が正常に出力されない

- 本機、または接続機器（アンプなど）の音量を調整してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していませんか。電源を切ってから接続し直してください。
- 入力ソースを正しく選択してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- 「Digital Output」、「Analog Output」、「Digital Link」が「Off」になっていませんか。(⇒ 27) 使用する出力端子の設定を「On」にしてください。
- マルチチャンネルのコンテンツの再生には対応していません。

- 本機のデジタル音声入力端子は、リニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の説明書をご確認ください。

再生が始まらない

- お使いの環境や接続機器の仕様によっては、少し時間がかかる場合があります。

電源が突然切れる

- オートオフ機能が働いていませんか。(⇒ 28)

音が途切れる

- お使いの環境により、音声が途切れる場合があります。接続した機器の説明書や接続を確認してください。

システム接続機能が働かない

- 本機と SE-R1 の LR 端子を合わせて接続してください。

iPhone/iPad/iPod

接続しても認識されない

操作できない

- 正しい入力ソースを選んでいますか。「USB」を選んでください。(⇒ 18)
- iPhone/iPad/iPod の接続方法は正しいですか。(⇒ 22)
- iPhone/iPad/iPod の電池が切れていませんか。iPhone/iPad/iPod を充電してから(⇒ 22)、接続をやり直してください。
- iPhone/iPad/iPod の電源を切 / 入してから、接続をやり直してください。

充電が始まらない

- 電池の切れた iPhone/iPad/iPod を充電する場合：
 - － iPhone/iPad/iPod を本機に接続時は本機の電源を「入」にしてください。また、iPhone/iPad/iPod の操作ができるようになるまでは本機の電源をスタンバイ状態にしないでください。

AirPlay/DLNA

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇒ 19)

本機にネットワーク接続できない

- ルーターの設定でマルチキャストを有効にしてください。
- 本機とスマートフォン、タブレットまたはパソコンの接続先が同じネットワークになっていますか。(⇒ 19)
- スマートフォン、タブレットまたはパソコンのネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- ネットワーク・スタンバイ (⇒ 28) を解除し、本機の電源を切 / 入してから、本機と接続し直してください。

再生が始まらない

音が途切れる

- 電波が途切れる場合は、ブロードバンドルーターの置き場所や角度を変えると接続機器の電波状態が良くなる場合があります。
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- スマートフォン、タブレットまたはパソコンの OS やアプリケーションのバージョンによっては、再生中に入力ソースを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に再生ができないことがあります。そのときは接続機器側でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。(⇒ 20, 23)
- 再生が停止したときは、スマートフォン、タブレットまたはパソコンで再生状態を確認してください。

USB

USB デバイスを接続しても認識されない

- ご使用の USB デバイスが他の機器で認識できるか確認してください。

[▶/||] を押しても再生が始まらない

- 音楽ファイルのフォーマットをご確認ください。(⇒ 34)

操作に時間がかかる

- 容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。

PC

パソコンが本機を認識しない

- 動作環境を確認してください。(⇒ 26)
- パソコンを再起動して本機の電源を入れ直してから、USB ケーブルを再度接続し直してください。
- 本機と接続するパソコンの USB 端子を変更してください。
- ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーをインストールしてください。

パソコンに保存してある音楽ファイルが見つからない

- ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、ネットワークサーバーに登録されていない音楽ファイルは表示されません。ネットワークサーバーの説明書を確認してください。

リモコン

リモコン操作ができない

- 本体の受信部とリモコンの間に障害物がありませんか。(⇒ 12)
- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっている場合は、リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。(⇒ 28)

本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する

他の機器のリモコンで本機が誤動作する

他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。(⇒ 28)

表示窓

AUTO OFF

本機の使用が約 20 分間ない場合、オートオフ機能 (⇒ 28) が働き、電源が切れます。

— 取り消すときは、[OK] などを押してください。

Checking Connection

接続した iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスを確認中です。

— 表示が消えてから操作を行ってください。

故障かな！？（続き）

Download Error

ソフトウェアのダウンロードに失敗しました

ネットワークがインターネットに接続されていません。

- － しばらく待ってから、やり直してください。
- － お使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がインターネットに接続されているか、確かめてください。

Empty

曲の入っていないフォルダを選択しています。

ネットワーク上にサーバーが存在しません。

- － フォルダに曲を入れてから、操作をやり直してください。
- － サーバーが本機と同じネットワークに接続されていることを確かめてから、本機との接続をやり直して下さい。（⇒ 20, 23）

Error

誤った操作をしています。

- － 操作をやり直してください。

F□□

異常が発生しました。（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります）

- － 著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。
- － しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます）それでも同じ現象が起る場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

No Network Connection

ネットワークに接続されていません。

- － ネットワークの接続を確かめてください。（⇒ 19）

Not Conditional

操作された機能は現在使用できません。

- － 手順や設定を確かめてください。

Over Flow

アナログ音声入力端子に接続中の音声が入りすぎている場合に表示されます。

- － 「Attenuator」を選んで、接続しているアナログ音声入力端子の設定を「On」にしてください。（⇒ 27）

PGM Full

プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。

- － これ以上のプログラムはできません。

Please Wait

電源操作時などに表示されます。（最大 1 分半）

- － 表示が消えるまでお待ちください。

Searching

ネットワークの DLNA サーバーを確認中です。

- － 表示が消えてから、操作を行ってください。

Unlocked

機器と接続していない状態で「PC」、「AES」、「COAX1」、「COAX2」、「COAX3」、「OPT」を選んでいきます。

サンプリング周波数などの音声信号を正しく入力できていません。

- － 接続機器の状態を確かめてください。（⇒ 16, 26）
- － 再生可能なファイルについては。（⇒ 34）

USB Over Current Error

iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスに過大な電流が流れるのを検出しました。

- － iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスを本機から取り外して、接続をやり直してください。（⇒ 22, 24）
- － 電源を一度、切 / 入してください。

U30 REM1/U30 REM2

リモコンモードの設定が本機と合っていません。

- － “U30 REM1” が表示される場合、リモコンの [OK] と [1] を 4 秒以上押したままにしてください。
- － “U30 REM2” が表示される場合、リモコンの [OK] と [2] を 4 秒以上押したままにしてください。

Hub Device Not supported/Unsupported/

Unrecognizable Device/ Unsupported USB Device

対応していない iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスです。

iPhone/iPad/iPod、または USB デバイス内のファイルが再生できないフォーマットです。

- － iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスが対応している機種かどうか、確認してください。
- － iPhone/iPad/iPod の電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- － 再生可能なファイルについては（⇒ 34）

仕様

■ アナログ出力部

チャンネル数		2 チャンネル
出力レベル	バランス出力	2.3 Vrms
	アンバランス出力	2.3 Vrms
	ヘッドホン	180 mW + 180 mW(32 Ω)
周波数特性	バランス出力	2 Hz - 90 kHz (-3 dB)
	アンバランス出力	2 Hz - 90 kHz (-3 dB)
総合ひずみ率	バランス出力	0.0008 % (JEITA)
	アンバランス出力	0.0008 % (JEITA)
S/N 比	バランス出力	118 dB (JEITA)
	アンバランス出力	115 dB (JEITA)
ダイナミックレンジ	バランス出力	118 dB (JEITA)
	アンバランス出力	115 dB (JEITA)

■ 入出力端子部

アナログ入力	LINE 入力× 2	ピンジャック
デジタル入力	AES/EBU デジタル入力	3 ピン XLR
	同軸デジタル 入力× 3	ピンジャック
	光デジタル入力	光角型端子
USB	前面、USB A タイプ コネクタ	
	対応 USB メモリ容量	最大 2 TB
	最大フォルダ数 (アルバム数)	800
	最大ファイル数 (曲数)	8000
	ファイルシステム	FAT16、FAT32
	供給電流	DC OUT 5 V、2.1 A MAX
PC	背面、USB B タイプ コネクタ	
アナログ出力	バランス出力	3 ピン XLR
	アンバランス出力	ピンジャック

デジタル出力	Technics Digital Link	
	AES/EBU デジタル出力	3 ピン XLR
	同軸デジタル出力	ピンジャック
	光デジタル出力	光角型端子
ヘッドホン端子		ステレオ、φ6.3 mm
LAN 端子		10BASE-T/ 100BASE-TX

■ 対応フォーマット (USB)

USB-A

USB 規格	USB 2.0 High-speed
USB マスストレージクラス	

PC (USB-B)

USB 規格	USB 2.0 High-speed
USB オーディオ仕様	USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode
DSD コントロールモード	ASIO Native mode、DoP mode、DSD64/DSD128 playback

■ 総合

電源	AC100 V、50/60 Hz	
消費電力	60 W	
電源切時の消費電力	約 0.2 W	
電源スタンバイ時の消費電力※	ネットワーク・スタンバイ切	約 0.2 W
	ネットワーク・スタンバイ入	約 5.0 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	480 mm × 120 mm × 391 mm	
質量	約 17 kg	
許容動作温度	0 °C ~ 40 °C	
許容相対湿度	35 % ~ 80 % RH (結露なきこと)	

※ iPhone/iPad/iPod 非充電時

注：この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

仕様 (続き)

■ ファイル形式

本機は以下のファイル形式に対応しています。

- 本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。
- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない形式のファイルを再生すると、音声途切れたりノイズが出ることがあります。その場合は、本機が対応しているファイル形式か確認してください。
- 本機はVBR（可変ビットレート）に対応していません。
- 接続している機器（サーバー）によっては本機が対応していないファイル形式を変換して出力できるものもあります。詳しくは、サーバーの説明書をご確認ください。
- 本機と再生ソフトで、表示されるファイル情報（サンプリング周波数など）が異なる場合があります。

USB-A で音楽を再生する場合

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32、44.1、48 kHz	16 ～ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16 ～ 320 kbps
WMA	.wma	32、44.1、48 kHz	16 ～ 320 kbps
WAV	.wav	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
FLAC	.flac	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
AIFF	.aiff	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
ALAC	.m4a	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16、24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8224 MHz、5.6448 MHz	

PC (USB-B) で音楽を再生する場合※1

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
PCM		32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24、32 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8224 MHz、5.6448 MHz	

DLNA で音楽を再生する場合※2

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32、44.1、48 kHz	16 ～ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16 ～ 320 kbps
WMA	.wma	32、44.1、48 kHz	16 ～ 320 kbps
WAV	.wav	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
FLAC	.flac	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
AIFF	.aiff	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
ALAC	.m4a	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16、24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8224 MHz、5.6448 MHz	

※1 専用アプリケーションをダウンロード・インストールすると様々な種類のフォーマットのファイルを再生することができます。
(⇒ 26) 詳しくはアプリケーションの説明書をお読みください。

※2 ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、本機が対応しているフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、PCに入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。

著作権など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。


「Made for iPod」「Made for iPhone」「Made for iPad」とは、それぞれ iPod, iPhone, iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。 アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。 この製品と iPod、iPhone、iPad を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。 AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch、Retina は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。 iPad Air、iPad mini は、Apple Inc. の商標です。 iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
Android は、Google Inc. の商標です。
Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
DSD、Direct Stream Digital および DSD ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
FLAC Decoder Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008, 2009 Josh Coalson Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. - Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな？」(⇒ 30 ～ 32) でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ネットワークオーディオ コントロールプレーヤー
品番	SU-R1
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検な どの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このネットワークオーディオコントロールプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時 電話 フリーダイヤル  0120-878-365 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130#」を押してください。 （番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。） ■ 上記番号がご利用 いただけない場合 06-6907-1187 ■ FAX 0120-878-236 Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays) ※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

- 修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト http://club.panasonic.jp/repair/ インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口 電話 フリーダイヤル  0120-878-554 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 ● 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検		長年ご使用のネットワークオーディオコントロールプレーヤーの点検を！	
	こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なおいや音がする ・音が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	ご使用 中止 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）（続き）

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶯4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
近畿地区	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 1114

最高水準の感動を、 世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。これが私たちの掲げたフィロソフィーです。

音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。

すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、世界中の人々から、憧れを抱いていただける、幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター
小川理子

パナソニック株式会社

ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2014

SQT0462-1
F1214SB1045

